

4月の農薬

No. 1 - 1

平成21年4月1日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

おうとう

1. ハダニおよびカイガラムシ対策は休眠期から始まっています。下草の管理と合わせて適正に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍率 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	カイガラムシ ハダニ	10倍 10ℓ	400ℓ (40ℓ)	混用には注意。 (混用方法 -下図)
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-		50倍 2ℓ	400ℓ (8ℓ)	
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	炭素病 灰星病			
	スケルサイドA乳剤	9ℓ 18ℓ	-	カイガラムシ ハダニ	50倍 2ℓ	400ℓ (8ℓ)	石灰硫黄合剤との混用はしない
風船状開花前	4-4式ボルドー (ICボルドー66D)	生石灰 20kg	-	灰星病 (炭素病) (幼果菌核病)	生石灰 400g	400ℓ 生石灰 1.6kg	いずれか
		硫酸銅 10kg 20kg	○		硫酸銅 400g	硫酸銅 1.6kg	
	ビスダイセン水和剤	500g	-		800倍 125g	400ℓ (500g)	混用可
開花直前	バイオマックスDF	500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 50g	400ℓ (200g)	混用可
開花直前	サンリット水和剤	250g	-	灰星病 幼果菌核病	2,000倍 50g	400ℓ (200g)	

注意：訪花昆虫保護のため、開花1週間前から巣箱を撤去するまではアタプロンSC以外の殺虫剤を散布しない。

もも

1. 管内全域で、せん孔細菌病の発生が多くなっているようです。必ず、開花始めにICボルドー412を散布してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍率 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前まで	オキシラン水和剤	500g 1kg	-	縮葉病	500倍 200g	350ℓ (700g)	いずれか カイガラ・ ハダニの 多い園では 混用散布する
	トレノックスフロアブル	1ℓ	-		500倍 200ml	350ℓ (700ml)	
	ダイボルトフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	カイガラムシ ハダニ	50倍 2ℓ	350ℓ (7ℓ)	
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-				
開花直前	ICボルドー412	5kg・10kg	-	(炭素病) せん孔細菌病	30倍 3.3kg	350ℓ (11.7kg)	
	カスミンボルドー	100g 500g	-	せん孔細菌病 縮葉病	500倍 200g	350ℓ (700g)	

西洋なし(ラ・フランス)

1. 輪紋病、胴枯病の防除を徹底しよう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍率 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	輪紋病、胴枯病 ハモグリダニ	10倍 10ℓ	250ℓ (25ℓ)	混用散布に 注意。 (混用方法 -下図)
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	ハダニ アブラムシ	50倍 2ℓ	250ℓ (5ℓ)	
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ			
開花直前	インダーフロアブル	100ml	-	黒星病、輪紋病	5,000倍 20ml	250ℓ (50ml)	混用
	モスピラン水和剤	100g 250g 500g	-	シンクイムシ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	バイオマックスDF	500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 50g	250ℓ (125g)	
	フェニックス顆粒水和剤	100g 250g 500g	-	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ケムシ類	4,000倍 25g	250ℓ (63g)	
落花1週間後	トップジンM水和剤	250g 500g	-	胴枯病 輪紋病	1,500倍 67g	450ℓ (300g)	

マシン油剤50倍と石灰硫黄合剤10倍の混用方法 (100ℓ作る場合)

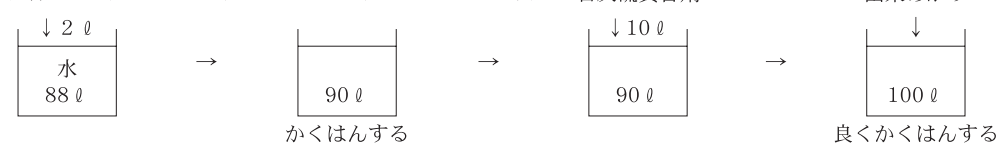
おうとう (ハーベストオイル・スプレーオイル)

もも (スプレーオイル)

西洋なし (ハーベストオイル・スプレーオイル・スピンドロン乳)

石灰硫黄合剤

出来あがり



注意：混用後は分離しないように散布終了までかくはん機を絶対止めないこと。(薬害防止)

ぶどう

薬剤散布前に粗皮けずり、前年の房の取り残し部分、巻ヒゲ及び結果母枝の枯死部分などの除去を徹底する。(耕種的防除を積極的に実施しましょう)

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	対象病害虫	倍率 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期 (4月上旬)	ベフラン液剤25	500ml	-	晩腐病 黒とう病	250倍 400ml	300ℓ (1,200ml)	加用散布
	ラビキラー乳剤	500ml	○	トラカミキリ	300倍 333ml	300ℓ (1ℓ)	
発芽直前 (4/下)	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	(褐斑病) カイガラムシ ハモグリダニ ブドウサビダニ	20倍 5ℓ	300ℓ (15ℓ)	前回の散布から7~10日間隔をあけて散布する。

果樹の除草剤

1. 除草剤使用後の防除器具は、良く洗浄する。
2. 散布は飛散防止のため晴天無風の時に
行なう。

散布時期	農薬名 (主な登録作物)	規格	譲渡書	10a当り 使用量	効果発現	持続期間	特性と作用
春夏期 雑草生育期	ハヤブサ (グリホシネート) りんご・ぶどう なし・もも くり・うめ・かき	500ml	-	1年生雑草 500~750ml 水量 100~150ℓ	2~ 4日後	30~40日	バスタ液剤の低成分製品。 展着剤不要 年間使用回数3回以内 収穫前日まで (かき、なし、ぶどう) 収穫21日前まで (りんご、もも、うめ) 収穫30日前まで (くり)
春夏期 雑草生育期	バスタ液 (グリホシネート) おうとう・もも うめ・りんご なし・かき くり・ぶどう	500ml 1ℓ 2.2ℓ 10ℓ	-	1年生雑草 300~500ml 多年生雑草 500~750ml 水量 100~150ℓ	2~ 5日後	40~60日	1年生雑草及びスギナに効果大。 展着剤不要 年間使用回数3回以内 収穫前日まで (ただし、くりは30日前、 りんごは収穫21日前まで)
梅雨明け 夏草雑草生育盛期・ 秋期越年生雑草	ラウンドアップマックスロード 〔グリホサート〕 アンモニウム塩 おうとう・ぶどう うめ・りんご なし・かき もも・くり 果樹類	500ml 1ℓ 2ℓ 5.5ℓ 20ℓ	-	1年生雑草 全般 250~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 少量散布 水25ℓ 通常散布 50~100ℓ	7~ 14日後	60~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	非農耕地 スギナ			2,000ml 水量 25~50ℓ			25倍処理でスギナ生育期散布は効果が高い。
梅雨明け 夏草雑草生育盛期・ 秋期越年生雑草	※カルナクス 〔グリホサート〕 イソプロピルアミン塩 りんご・ぶどう なし・もも うめ・おうとう	500ml	-	1年生雑草 250~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 50~100ℓ 少量散布 水25~50ℓ 通常散布 50~100ℓ	7~ 14日後	60~70日	1年生雑草から、ヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	※三共の草枯らし 〔グリホサート〕 イソプロピルアミン塩 りんご・なし ぶどう・もも おうとう・うめ すもも・くり かき	500ml 1ℓ 2ℓ 5ℓ	-	1年生雑草 全般 250~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 少量散布 水25~50ℓ 通常散布 50~100ℓ	7~ 14日後	60~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで

4月の農薬

No. 1 - 2

平成21年4月1日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

水 稲

- ①種子消毒は、塩水選の耕種防除と薬剤処理のセットで行いましょう。
- ②微生物資材は、保存する際、冷暗所に保管してください。(常温での保管は避けてください)

(種子消毒)

主な病害	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な使用方法	使用薬量	
						種子量	薬量・水量
ばか苗病・いもち病	ヘルシード水和剤 ベンレートT水和剤	100g 500g	-	浸	①湿粉衣法 乾燥剤重の0.5%粉衣	10kg	50g
						20kg	100g
ばか苗病・いもち病(苗立枯)	テクリードC フロアブル	100ml 500ml	-	種前	①高濃度短時間処理法 20倍(500ml/10ℓ) 10分間浸漬 ※種子塗抹処理については別途ご相談ください。	10kg	1,000ml/20ℓ
						(高濃度処理法)	
ばか苗病・いもち病(苗立枯)	スポルタック スターナSE	100ml 500ml	-	種前	②低濃度長時間処理法 200倍(50ml/10ℓ) 24時間浸漬	10kg	100g/100ml/20ℓ
						(低濃度処理法)	
もみ枯細菌病	タフブロック	100ml 500ml	-	催芽	①24~48時間浸漬処理 200倍(50ml/10ℓ) 微生物資材なので、風乾は省略する	10kg	100ml/20ℓ 200ml/40ℓ
						20kg	200ml/40ℓ
もみ枯細菌病	エコホープDJ	100g 500g	-	前	①24時間浸漬処理 200倍(50g/10ℓ) 微生物資材なので、風乾は省略する ※催芽時処理の場合は24時間種子浸漬する。	10kg	100g/20ℓ 200g/40ℓ
						20kg	200g/40ℓ

注意：1. 薬剤消毒前に塩水選を行ない、水洗した種もみの水を切り、上記のいずれかの方法で消毒する。薬剤を固着させるため、処理後2~3日間はひろげて陰干し後、浸種する。(テクリードC及びヘルシード水和剤は省略可) 浸種時、水は2~3日かえない。
2. 使用後の薬剤は河川、池、沼や水路には絶対捨てないこと。
3. 微生物資材は風乾すると効果が落ちるので、浸漬後、そのまま浸種する。
4. タフブロック、エコホープDJを使用する場合、嵐剤の床土混和は種時処理、緑化期処理はしない。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な対象病害虫	主な使用方法・使用薬量
育	ダチガレエース粉剤	1kg 3kg	-	は種前	フザリウム ピシウム	は種5~7日前に1箱当り6~8g、床土・覆土に均一に混合する。(1kg1袋で166~125箱分)
	ダコニール粉剤	3kg	-	は種前	リゾープス(白カビ)	は種時に1箱当り15~20g、床土・覆土に均一に混合する。(3kg1袋で150箱分)
	タチガレエース液剤	100ml 500ml	-	は種時又は発芽後	フザリウム ピシウム リゾープス	ダコニール1000と混用の場合は種時に500倍(各薬剤20ml/10ℓ)になるよう混合し、1箱当り500ml灌注
	混用可能(は種時) ダコニール1000	250ml 500ml	-	は種時	リゾープス(白カビ)	500~1,000倍(20ml~10ml/10ℓ)を1箱当り500ml灌注
	ダコニール1000	250ml 500ml	-	は種時	フザリウム ピシウム	は種後10日頃に500倍液(20ml/10ℓ)を箱当り500ml灌注(100ml1本で100箱分)
	タチガレン液剤	100ml 500ml	-	及び種発直後	フザリウム ピシウム	は種後10日頃に500倍液(20ml/10ℓ)を箱当り500ml灌注(100ml1本で100箱分)
注意：タチガレン剤とダコニール粉剤の使用は、必ず5日以上の間隔をとる。						
期	嵐プリンス箱核剤6	1kg 10kg	-	は種前	いもち病 紋枯病 イナゴ類	育苗箱の床土に均一に混和する。(50g/1箱当り)
				当日は種時	ウニカメイチュウ イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	育苗箱の上から均一に散布する。(50g/1箱当り)

注意：低温で発芽抑制や生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意する。

りんご

- ①本年は生育が平年並で生育しています。生育状況をよく観察して、適期を逃さず防除して下さい。(発芽期に注意してください)

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量(薬量)	備考
発芽前まで	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	50倍 2ℓ	350ℓ (7ℓ)	いずれか 混
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-				
	ベフラン液剤25	500ml	○	腐らん病	500倍 200ml	350ℓ (350g)	いずれか 用
	トップジンM水和剤	500g	-		1,000倍 100g		
発芽10日後	ストライド顆粒水和剤	500g	-	黒星病 モニリア病	1,500倍 67g	350ℓ (350g)	単用
	休眠期及び発芽時の散布を省略し、この回から散布開始する場合						
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	100倍 1ℓ	350ℓ (3.5ℓ)	いずれか 混
	スプレーオイル	20ℓ	-				
トップジンM水和剤	500g	-	腐らん病 モニリア病	1,000倍 100g	350ℓ (350g)	用	
デランフロアブル	500ml	-	黒星病 モニリア病				
発芽後 開花直前	(モニリア病対策) 葉ぐされの発生がある場合に散布する						
	トップジンM水和剤	250g 500g	-	モニリア病	1,000倍 100g	400ℓ (400g)	
開花直前	インダーフロアブル	100ml	-	モニリア病 黒星病	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml	いずれか ハマキムシの多い園で混用
	アンビルフロアブル	500ml	-	モニリア病 黒星病	1,000倍 100g	400ℓ (400g)	
	サンリット水和剤	125g	-	うどんこ	4,000倍 25g	400ℓ (100g)	
	マトリックフロアブル	500ml	-	ハマキムシ (ミダレカクモンハマキ)	2,000倍 50ml	400ℓ (200ml)	
	バイオマックスDF	500g	-	ハマキムシ (ミダレカクモンハマキ)	2,000倍 50g	400ℓ (200g)	
	フェニックス顆粒水和剤	100g 250g 500g	-	ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	4,000倍 25g	400ℓ (100g)	

※この時期、アブラムシ類の発生が多い場合は、モスピラン水溶剤4,000倍を開花期間を除き散布する。(早朝)

すもも

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量(薬量)	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	ふくろみ病 ウメシロカイガラムシ	10倍 10ℓ	400ℓ (40ℓ)	混用には注意
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ	50倍 2ℓ	400ℓ (8ℓ)	
開花前	ロブラール水和剤	100g 500g	-	灰星病	1,000倍 100g	400ℓ (400g)	

農薬の使用基準は農薬容器のラベルに記載されています。農薬の使用に際しては、ラベルをよく読んで確認して下さい。



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

お問い合わせ・ご注文の電話番号
023-634-8157

ご注文の際のFAX番号
023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!